

# 富士岐五産株式会社

本 社 〒807-0801  
 福岡県北九州市八幡西区本城4丁目8番16号  
 TEL. 093(602)8670(代表)  
 FAX. 093(601)0603  
 代 表 者 代表取締役社長 真鍋 聡  
 創 立 昭和34年4月25日  
 資 本 金 9,800万円  
 社 員 数 430名  
 取 引 銀 行 北九州銀行  
 西日本シティ銀行  
 福岡銀行  
 みずほ銀行

## ●支店及び事業所

名古屋支店…………… 愛知県東海市富木島町山田12番55号  
 TEL. 052(603)2561 FAX. 052(601)0597  
 〈日本製鉄作業所〉… 日本製鉄(株)名古屋製鐵所構内  
 TEL. 052(604)1432 FAX. 052(604)3051  
 〈大同作業所〉…………… 大同特殊鋼(株)知多工場内  
 TEL. 0562(32)2860 FAX. 0562(32)2909  
 (株)大同キャストイングス名古屋工場内  
 TEL. 052(694)2730 FAX. 052(698)3578  
 〈中部鋼鉄作業所〉… 中部鋼鉄(株)内  
 TEL. 052(661)6763 FAX. 052(665)3101  
 〈名古屋工場〉…………… 愛知県知多市八幡字浦浜1番52号  
 TEL. 0562(39)3411 FAX. 0562(32)4141  
 北九州工場…………… 福岡県北九州市若松区南二島2丁目28番1号  
 TEL. 093(791)0511 FAX. 093(791)9330  
 大分事業所…………… 大分県大分市西ノ洲1番地  
 日本製鉄(株)九州製鐵所大分地区構内  
 TEL. 097(558)8434 FAX. 097(558)8861  
 〈松岡工場〉…………… 大分県大分市松岡1931  
 TEL. 097(524)6435 FAX. 097(520)3902  
 広畑事業所…………… 兵庫県姫路市広畑区鶴町2丁目16番地  
 TEL. 079(236)4511 FAX. 079(236)1172  
 技術室…………… 福岡県北九州市若松区南二島2丁目28番1号  
 TEL. 093(791)0226 FAX. 093(791)9330

## ●ビジネスフィールド



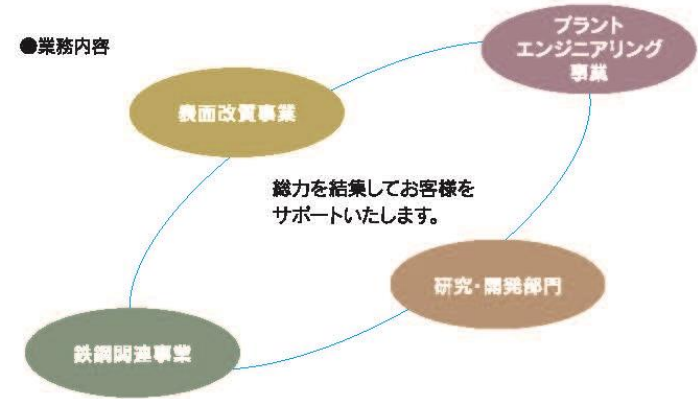
# 富士岐五産株式会社

## CORPORATE PROFILE

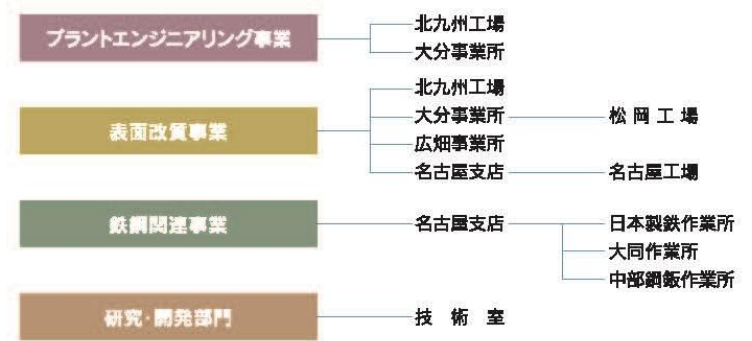
弊社は創立以来鉄鋼、石油化学など広範囲に事業を展開し「誠実」「安全」「品質」を経営のモットーとして、常にお客様に喜ばれ信頼される会社づくりに邁進し、業容を拡大してまいりました。今後ともこの理念を高揚させ、弊社の主力技術であります溶接・各種溶射法によるコーティングをはじめとする独自の製品加工技術の深耕に努め、素材産業はじめ都市環境保全及び生活関連産業の分野に最高の技術と優れた商品を提供し、お客様のご要望にお応えします。



●業務内容



●各事業部門



長年培った、技術とノウハウで、お客様のあらゆるニーズにお応えします。

地道に、実直に、一步一步。

私たちは技術集団として、やるべきことをとことん突き詰め、遠回りしてもしっかりとした一步を着実に歩むことを大切にしています。  
時には地味な作業が格好悪く見えるかもしれませんが、  
しかし、その格好悪さに私たちは自負があります。  
格好悪いエンジニアが格好良い。  
それが私たちのエンジニアリングです。

「安心」と「信頼」を、**ご提供**します。

お客様の高度なオーダーにも、豊かな経験と、確かな技術力でお応えします。

## プラントエンジニアリング事業

地球環境保全・省エネ化を通しプラント技術は各産業界に大きく貢献しています。

弊社はプラント技術を通して鉄鋼・石油化学などの基幹産業から生活関連産業に至るまで広範囲にわたるプラント製品を手掛け、その主力製品である各種ボイラ・圧力容器・塔槽類等の管構造物の設計・製作から据付けまで一貫した施工体制でプラント建設に携わっています。特に都市ゴミ焼却炉をはじめ、鉄鋼分野の高炉冷却配管、コークス乾式消火設備(CDQ)用ボイラ、転炉排ガス冷却装置には当社の管構造物

ノウハウを投入し、客先の高い評価を得ています。さらに工事部門では、ユーザーの皆様との技術提携による各種ボイラ据付工事、その他数多くの工事施工実績に対し、絶大なる信頼を得ています。

〈主な工事実績〉

- ボイラ関連設備
- 都市ゴミ焼却施設
- 製鋼・製錬関連設備
- 高炉設備



## Plant Engineering

高度な品質を提供する一貫した施工体制は、お客様より高い評価を得ています。



# 溶射の可能性は無限大です。

理論上は、固体であればほとんどの素材に溶射できます。その技術と用途は、あらゆる可能性を秘めています。

## 表面改質事業

溶射は、セラミックス・金属など多様な皮膜を高速で形成するプロセスであり、航空機から一般家庭電化製品、半導体製造装置・部品に至るまで広い分野で応用されています。溶射技術は、防錆・防食に対する鉄鋼構造物などの基材保護及び化学機器装置などの耐薬品に対する環境遮断を目的とした溶射と、各工業分野の設備、装置などにおける耐摩耗、耐熱遮熱、絶縁などを目的とする機能的な溶射に区分されます。弊社の溶射は、50数年にわたる技術蓄積をもつプラズマ溶射・自溶合金溶射・溶線式フレーム溶射・高速フレーム溶射・アーク溶射です。



表面改質(溶射)技術が創造する明るい未来とクリーンな環境。

### ■プラズマ溶射

熱源であるプラズマジェットは、5000~16000℃と高温かつ高速のガス気流であり、金属系から高融点のセラミック系まで広範囲な溶射材料が使用でき、印刷機部品、炉内ローラ、ポンプスリーブ等の耐食、耐摩耗に適しています。



### ■溶線式フレーム溶射

肉盛溶射は、機械部品の摩耗した部分や寸法不足の部分の機能を損なわないように修復するのに適しています。また防食溶射には、鉄鋼材料に錆が発生するのを防止する、防錆溶射としての亜鉛・亜鉛アルミニウム合金溶射があります。



### ■自溶合金溶射

自溶合金は、溶射溶融によってピンホールのない溶着金属が得られます。この合金は、耐摩耗性、耐食性、耐熱性に優れており、連続鋳造用モールド・ボイラーチューブ・各種ローラ等に適しています。



### ■高速フレーム溶射

超音速フレームにより粉末材料を加熱、加速させ高い運動エネルギーにより緻密で密着性の高い皮膜が得られます。高速フレーム溶射により製作されたサーメット皮膜は、高硬度・高耐摩耗・耐食性を有し、各種ロール工業用ボイラ・ジェットエンジンなどに適用されます。



### ■アーク溶射

2本の線材の先端で直流アークを発生させ、溶融した金属を空気ジェットで吹き飛ばし製膜させます。膜厚の形成が比較的容易にでき、密着圧力にも優れ、橋梁や半導体関連装置に適用されます。



# Thermal Spraying

# 世界有数の鉄鋼・特殊鋼生産を支えます。

「人」と「機械」は、どちらかが優れていないと求められる製品は出来ません。  
大手特殊鋼・鉄鋼メーカーの協力会社として、各種生産ラインのオペレーションから製品検査、生産設備のメンテナンスまで、多種多様な業務を徹底した安全管理のもと、品質向上・生産性向上を図りお客様をサポートします。



提供：大同特殊鋼株式会社 知多工場

## 鉄鋼関連事業

世界トップレベルの鋼と特殊鋼を造るため、製造ラインを守ります。

弊社は製鐵所及び製鋼所において、各種機械装置を駆使し、製鐵工程の製鋼から製品に至るまでのラインの操業、検査及び管理を行っています。



## Engineering Support

専門技術を身につけた精鋭のモノ造り集団が、お客様に最高の技術を提供いたします。

約1ヶ月間の新入社員導入教育を皮切りに、安全衛生法に定められた各種の資格・免許の取得、国家資格であるクレーン運転士免許の取得までは必須です。  
また、配属先により、非破壊検査、アーク溶接、危険物乙4、電気工事士等といった資格・免許にも挑戦してもらいます。その他、選抜者になりますが、専門技能教育という数ヶ月～1年の間、業務を離れ研修だけを行う制度も実施しています。教育だけではなく、日々の生産活動でも業務改善提案を奨励し、キャンペーン・発表会等で盛り上げ、コストの低減、品質の向上、職場風土の改善に取り組んでいます。  
この様な、日々の業務の中でのひとつひとつの積み重ねを通じ、協力会社の一員として、顧客の安全管理・生産管理のニーズに応えています。





## 「あったらいいな」の発想。

これまで、弊社が長年にわたり蓄積してきた技術は、  
まだまだ様々な分野で貢献できる可能性を秘めています。  
これからも、皆様の「あったらいいな」を大切に、  
新たなビジネスフィールドへチャレンジします。

# Research & Development

## 研究・開発部門

さらなるビジネスフィールドの拡大のため、  
様々な加工技術と用途開発に挑戦しています。

弊社の研究・開発部門は、各事業所をサポートすることにより、お客様の高度なニーズにも素早くお応えする応用的研究開発と、これまで培ってきたノウハウを活かし新たなビジネスを創出する基礎的研究開発があります。弊社は、これからも人と地球環境を大切に、豊かな社会づくりに貢献するため様々な研究開発を行っていきます。



先端技術を導入し、新たな価値の創造に日々邁進しています。  
自社内の研究開発のみならず、他社や大学との共同開発にも積極的に取り組み、各産業界の発展に貢献しています。

